

# 資料館だより



四高物理実験機器  
文字電信機

## CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／研修等参加報告
- 3… 資料館での雑感／平成28年3月～7月移管・寄贈資料
- 4… 開催案内／学会協力展

## TOPICS

### 資料館が多くの報道機関で紹介

資料館では、4月から9月21日まで恒例のコレクション展を「金大資料館 コレクション展：ナニコレ」と題して開催し、多くの来場者がありました。

この展示期間中に、資料館は、北陸地区の高等教育機関が設置する施設としては初めて文部科学大臣から「博物館相当施設」の指定を受けました。(前号TOPICS参照)

このことを受けて、資料館が地元新聞2紙のほか、全国紙やテレビ局から取材を受け、クイズ形式による展示など小さいながらも工夫を凝らした展示について紹介されました。これらの報道が、金沢大学に「博物館」があることを地域の方々にお知らせするよい機会になり、地元の方や他県からも来館されるなど、大きな関心を集めました。



展示物を紹介する北陸放送の小野塚アナウンサー

### 博物館実習や天の川プロジェクトに協力

大学博物館の大切な使命の一つは、教育活動です。資料館では、「博物館実習」の授業や「天の川プロジェクト」で来日した留学生に対する授業への協力をとおして、その使命の実現に努めています。

4月の「地域概論」の授業では、奥野正幸館長による講義、展示室の見学、収蔵庫ツアーが行われ、新入生にとっては、金沢大学の歴史の一端にふれる機会となりました。6月には「天の川プロジェクト」で来日したスペイン・ポルトガルからの留学生と「博物館展示論」を履修中の学生が来館し、資料館職員による展示解説が行われました。

「天の川プロジェクト」の留学生は、後日、資料館での掛軸実習と拓本実習にも参加し、日本の歴史と文化を体験しました。

「博物館実習」の授業協力では、6月に収蔵庫内部の見学、7月には学生企画展に向けて資料館職員が指導を行いました。どのような企画展になるのか、学生たちの創意工夫に期待が高まります。

## 展示活動報告

アウト  
リーチ展

### 「電信小史」開催

会期 平成28年5月18日～6月21日 会場 自然科学系図書館

資料館のコレクションを周知するために、自然科学系図書館でアウトリーチ(出張)展示を行いました。本展示では、電信の歴史におけるイノベーションともいえるモールス氏電信機と文字電信機を展示しました。いずれも第四高等学校で教育・研究用に使用されていた物理実験機器で、資料館の主要コレクションです。特に、モールス氏電信機は1878(明治11)年に文部省(現文部科学省)から交付されたもので、現存する機器の中でも数が少ないもののひとつです。多くの人が知っているけど実物は見たことがない、そんな古典的電信機器を間近で見られる展示となりました。自然科学系図書館からも電信に関連する図書が展示され、展示を盛り上げました。

パネル展

### 「金沢大学 研究の顔」開催

会期 平成28年7月7日～9月9日 会場 資料館展示室

金沢大学で現在進めている研究を取り上げ紹介する初めての試みとして、パネル展を7月7日から9月9日まで開催しました。今回は、昨年度に設置された新学術創成研究機構の全面的な協力を得て、同機構の研究部門12ユニットの研究内容を紹介しました。

新学術創成研究機構は、金沢大学に優位性のある研究の更なる強化、学問分野融合型研究の一層の進展及び国際頭脳循環の継続的拡充を一体的に推し進めることにより、革新的な研究成果を生み出し、新しい学問分野・学問領域の創成につながる学際的な研究を推進することを目的として設置されたものです。

展示では、各ユニットの研究をパネルで紹介したほか、自動車の自動運転走行試験の様子やカッパドキア(トルコ)の岩窟聖堂の3Dコンピュータ・グラフィックスを映像で紹介しました。



展示風景

## 研修等参加報告

### 大学博物館協議会

平成28年度の大学博物館等協議会及び日本博物科学会は広島大学の東広島キャンパス学士会館で開催され、本学から資料館長外2名が参加しました。開会の挨拶では、広島大学長の越智光夫氏及び同大学総合博物館長の岡橋秀典氏から、博物館は大学を活性化する潜在能力を多分にもっているとの話がありました。また、同大学の犬塚攻氏が「生物多様性の危機を大学博物館から考える」と題した特別講演があり、自然科学系を中心とした博物館ならではの内容でした。日本博物科学会ではさまざまな分野の研究発表があり、活発な意見交換がなされ、施設見学では、総合博物館だけでなく、緑豊かなキャンパスをそのまま展示した「発見の小径」の散策もありました。

### 紙資料補修体験会

7月7日、8日の両日、(株)プリザベーション・テクノロジーズ・ジャパン(埼玉県大宮市)の工場見学会・補修体験会に、資料館職員が参加しました。同社は、酸性化した古い資料を脱酸性化する「ブックキーパー」という特許技術を用いて、傷んだ資料を修復し、保存期間を延長する事業を行っています。紙の破れの補修や繊じなおしの作業をした後、資料を酸化マグネシウムが主成分の処理液に浸して脱酸します。その補修作業を体験し、日常業務に直結する技術を学ぶことができ、有意義な研修となりました。

資料館のアルバイトを通して私が感じたこと

私は今、金沢大学資料館で、資料整理のアルバイトをさせていただいています。このアルバイトを通じて、私は“博物館資料の見方や扱い方”を学ぶことが出来ていると感じています。ただ、その資料が何なのか、分かればそれでいいわけではなくて、どういうときに、どういう理由で作られたのか、その資料がその時代の金沢大学やこの地域の何を示すものなのか、などの“博物館資料としての価値”を明らかにしていくことが資料を展示するためには必要だということを、資料館の方々がやっていらっしゃるお仕事を近くで拝見させていただくときや資料整理の指示やアドバイスをいただいているときに聞いたお話しから、知ることが出来ました。そして、そのとき聞いたことを参考に資料をみて、資料整理をすると、ただの古いものに見えると見えてしまうようなものも、そうではないのだと知ることが出来ました。

さらに、実際に資料に生で触れることが出来ると、その資料に対して得られる情報量がすごく多い、ということも実感しています。触れるといっても、手の油や指紋がついてしまうような触り方はできないのですが、なるべく資料を傷つけないようにするためには、その資料の“あまり触らない方がいいところ”を判断することが必要であり、その作業にも、資料全体をよくみることが重要だということも、資料整理のアルバイトをしていく中で教えていただきました。たくさんの様々な資料に対して、どうしたものなのか、どこなら触って持ちあげても大丈夫なのかを見たり、聞いたりして把握しながら、ひとつひとつの扱い方を考えて資料整理をするのは、私にとってとても楽しいです。

また、私が所属しているフィールド文化コースでは、実際にその場でものを見て、それについて考えることが大切なので、ものの見方や扱い方を学べることは、私の大きな強みに繋がっていると思います。

人間社会学域人文学類3年 水上 空



平成28年3月～7月  
移管・寄贈資料

今期も貴重な資料の数々を移管・寄贈していただきました。当館にて大切に保管し、活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

移管

- がん研究所附属がん幹細胞研究センター 木製看板

医薬保健系事務部

寄贈

- ポストカード(2点)
- 「金沢高等師範学校附属中学校の記録」
- 竹村松男氏旧蔵 四高時代の写真・ノート・雑貨等(214点)
- こけし「超然の華」四高開学八十八年記念、四高校章入りネクタイピン
- 全身伝熱浴付属サングラス

戸田 準氏  
情報部  
竹村 修氏  
野村桂子氏  
田上章子氏



## 開催案内

特別展

### ガラスの博物誌

会期 平成28年10月12日～11月30日 会場 資料館展示室

現代社会において、ガラスは自動車、建築、医療、情報通信など様々な分野で欠かせない存在です。しかしながら、その起源や歴史及び物質としての特徴・製造方法については、一般にはよく知られていません。

ガラスの起源は、4,000年以上にも遡ることができ古くから人類とともにありました。今回の特別展では、ガラスの特徴の分かりやすい説明を加えながら、ガラスの起源や正倉院所蔵のガラスについて、レプリカやパネルで紹介します。

また、現代のガラスとその製造の一端をご覧いただくとともに、金沢大学で所蔵する火山ガラス(黒耀石)や生物ガラスなどを中心に、自然界に存在する多様なガラス物質についても紹介します。



黒耀石(Obsidian : 火山ガラス)

さらに、資料館で所蔵している、ローマングラスの資料やガラス原料に関する資料も展示しますので、是非お運びいただきガラスへの関心を深めていただければ幸いです。



紺瑠璃杯(レプリカ)

アウトリーチ展

### 旧城内キャンパス企画展

会期 平成28年10月25日～11月4日  
会場 金沢城公園河北門内

10月29日(土)開催のホームカミングデーに合わせて、資料館展示室を飛び出して金沢城公園内でアウトリーチ展を開催します。

大学のキャンパスが、城内にあった頃の写真を展示する毎年恒例の「よみがえる城内キャンパス」展に加え、第四高等学校の校風改革運動の最中に起きた「寒潮事件」をテーマにした企画展示「破かれた恋愛小説～寒潮に翻弄された四高生～」を同時開催します。

この企画展示は、平成27年度に「博物館実習」を受講していた学生たちが、テーマ選定からポスターデザイン、パネル作成、資料展示に至るまでほとんど全ての学芸員業務を実体験したものです。学生の力作を、OBをはじめ市民の皆様にご紹介することにより、資料館の活動を広く知っていただく機会となることを願っています。

### 日本物理学会協力展開催

日本物理学会秋季大会が金沢大学で開催されたことに合わせて、資料館では旧制四高時代に使われた物理実験機器を9月13日から21日まで展示し、全国の研究者に紹介しました。

これは、資料館が収蔵している機器が、全国的にみても状態の良いものがまとめて保存されていることから、日本物理学会物理学史資料委員会からの提案に基づき開催したものです。

### 編集後記

4月に着任しました藤原です。以前、北陸学院ウィン館で博物館業務に従事していました。現在は文書資料を担当しています。

文書収蔵庫の1万点を超える資料の中には明治期の貴重資料も多数あり、調査や発見のたびにわくわくします。これからどんな資料との出会いがあるのか、とても楽しみです。たくさんの方々に資料館のことを知っていただき、情報や興味を共有できれば幸いです。(藤原真理)

金沢大学資料館だより  
第51号 平成28年9月30日発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050  
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>